

**第5回 トランスグルタミナーゼ研究会&日本ポリアミン学会  
合同学術集会 プログラム**

日 時： 平成 25 年 9 月 10 日(火) 14:30 から

場 所： キャンパス・イノベーションセンター 5階 (508・509)  
(東京都港区芝浦 3-3-6)  
(アクセスは以下の HP と裏面の地図をご参照ください。  
<http://www.cictokyo.jp/access.html>)

参加費： 主任研究者：3,000 円、その他：1,000 円  
(学部学生および大学院生は無料)

懇親会費： お一人 2,000 円

**タイムスケジュール**

14:00 受付開始 (ポスター貼付け)

14:30 世話人会 (司会 ; 大城戸、一瀬)

15:30 開会挨拶 (人見)

特別講演 1 「細胞機能におけるポリアミンと eIF5A の役割」  
千葉大学大学院薬学研究院 西村和洋准教授

16:15 特別講演 2 「Tissue Transglutaminase の免疫反応における新機能」  
ソウル大学医学部生化学 In-Gyu Kim 教授

17:00 ポスター発表とディスカッション (別紙)

18:00 閉会挨拶 (村井)

(後片付けと移動)

18:30 懇親会  
はちすか小六 田町店  
(JR 田町駅から 1 分 : ただし駅をはさんで向こう側)

**問い合わせ先**

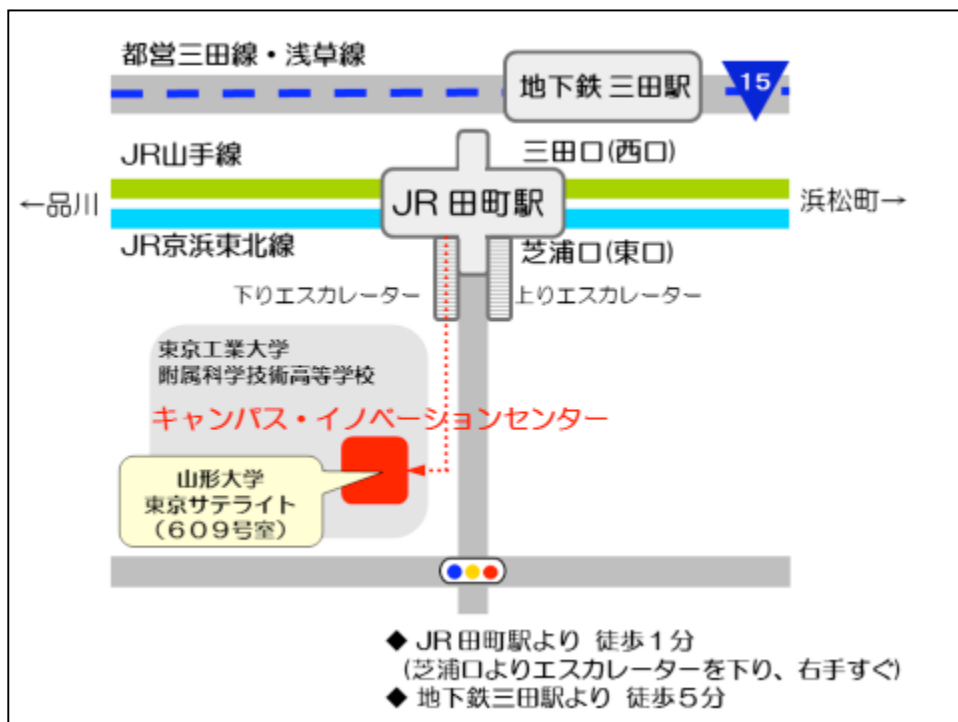
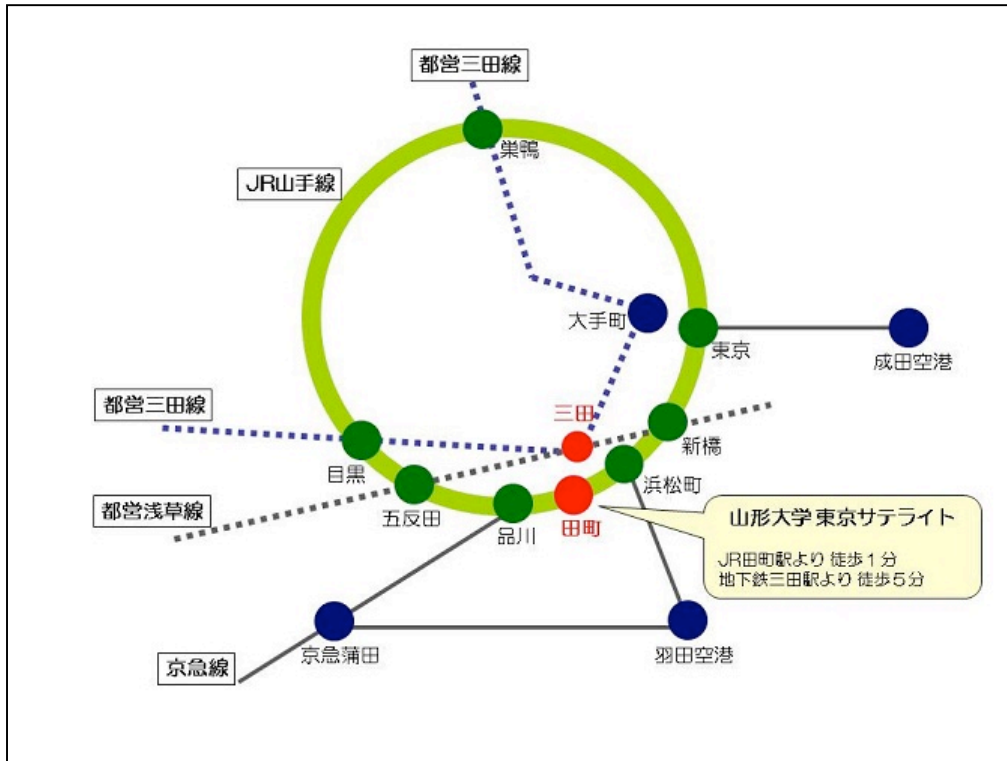
山形大学医学部 分子病態学講座  
〒990-9585 山形市飯田西二丁目 2 番 2 号  
Tel: 023-628-5276、FAX: 023-628-5280  
E-mail : [bunbyo@mws.id.yamagata-u.ac.jp](mailto:bunbyo@mws.id.yamagata-u.ac.jp)

# キャンパス・イノベーションセンター

住所: 東京都港区芝浦 3-3-6

合同学術集会は、キャンパス・イノベーションセンター5階リエゾン508・509で行ないます

(HP から引用)



第5回トランスグルタミナーゼ研究会 & 日本ポリアミン学会合同学術集会

ポスター発表プログラム(2013.09.10)

1. モデル生物としてのメダカにおけるタンパク質架橋化酵素ファミリーに関する解析  
○小河亮太、渡邊優子、菅沼名津季、菊田紋華、辰川英樹、人見清隆  
名古屋大学大学院創薬科学研究科
2. トランスグルタミナーゼ 2 による Sp1 の不活性化が PAC1 の遺伝子発現を抑制する  
○宮田篤郎<sup>1</sup>、三浦綾子<sup>1</sup>、神戸悠輝<sup>1</sup>、辰川英樹<sup>2</sup>、小嶋聡一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学・医歯学総合研究科・生体情報薬理学、  
<sup>2</sup>理化学研究所・ケミカルバイオロジー研究領域・分子リガンド生物研究チーム
3. モデル生物としてのメダカの新規タンパク質架橋化酵素アイソザイム (OITGF・OITGO) に関する生化学的解析  
○菅沼名津季、小河亮太、菊田紋華、高田佑紀、渡邊優子、辰川英樹、人見清隆  
名古屋大学大学院創薬科学研究科
4. 自己免疫性血友病 XIII における抗血漿 TGase (凝固第 XIII 因子) 抗体の生化学的解析  
○尾崎 司<sup>1</sup>、惣宇利正善<sup>1</sup>、杉山大輔<sup>2</sup>、曲 泰男<sup>2</sup>、一瀬白帝<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山形大学 医学部 分子病態学講座  
<sup>2</sup>株式会社キューメイ研究所
5. 皮膚表皮に存在するタンパク質架橋化酵素の高反応性基質配列を用いた基質探索  
○山崎梨沙、古川健太郎、山根美樹、鞍本克真、辰川英樹、人見清隆  
名古屋大学大学院創薬科学研究科
6. 血液凝固第 XIII 因子基質としての血小板ビンキュリン分解産物  
○笠原浩二<sup>1</sup>、原 裕太<sup>2</sup>、兼田瑞穂<sup>1</sup>、飯田和子<sup>1</sup>、林もゆる<sup>2</sup>、下仲基之<sup>2</sup>、  
大森 司<sup>3</sup>、一瀬白帝<sup>4</sup>、山本 正<sup>5</sup>、三木俊明<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京都医学総合研究所、<sup>2</sup>東京理科大学理学部、<sup>3</sup>自治医科大学、  
<sup>4</sup>山形大 学医学部、<sup>5</sup>奥羽大学薬学部
7. タンパク質架橋化酵素の生体内組織分布解析  
○大橋慎太郎、阿部奈都美、辰川英樹、人見清隆  
名古屋大学大学院創薬科学研究科
8. 肝線維化動物モデルにおける TG2 の線維化促進作用と分子機構  
○古谷 裕<sup>1</sup>、李殷瑞<sup>1</sup>、原 詳子<sup>1</sup>、坂田幸太郎<sup>1,2</sup>、小嶋聡一<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>理化学研究所 CLST 微量シグナル制御技術開発特別ユニット、<sup>2</sup>湧永製薬